

2008年電子情報通信学会総合大会シンポジウム講演の企画について

電磁界理論研究専門委員会では、2008年3月開催の総合大会において下記のシンポジウム講演を企画しました。奮ってご投稿くださいます様、よろしくお願い申し上げます。

記

期 日： 平成20年3月18日(火)～21日(金)の総合大会開催期間中

会 場： 北九州学術研究都市 三大学（九工大、北九州市大、早大）合同

題 名： 電磁波を用いた可視化技術の現状と今後の展開

提案趣旨：

電磁波を物体に入射したときの散乱データに着目して物体の媒質定数、形状、寸法、位置を可視化する技術は、生体の医用診断、埋設物探査、各種物体の非破壊検査、レーダターゲットの同定などの分野において重要である。電磁波を用いた可視化技術の開発は活発に行われ、これまでに多くの研究成果が得られている。本シンポジウムは、光波からマイクロ波に至る様々な周波数帯で行われている可視化技術の現状について紹介し、これらの技術の今後の展開について討論を行って知見を広めることを目的に提案するものである。

講演申込登録・原稿締切：

平成19年11月15日(木)～平成20年1月9日(水) 17:00 (厳守)

提案者： 石原 豊彦 (防衛大学校・通信工学科)

オーガナイザ： 田中 充 (大分大学・工学部・電気電子工学科)

E-mail: tanaka-m@cc.oita-u.ac.jp